



森林セラピー通信

森のたより

飯南高校2年生が「森林セラピー」を体験

毎年、「生命地域学」中山間地域研究センター実習の一貫として、飯南高校2年生が全員参加しています。当日は土砂降りの雨でしたが、午前中は観光協会職員による座学、午後からは6班に分かれて森林セラピーを体験しました。



ササの葉で工作

「森の中に入れば、雨脚は弱まるから・・・」と希望もかねてガイドするも、雨は一向にやむ気配なし。結局、2時間ずっと雨の中の体験となりましたが、参



ドーム型のビニールテント「ガーデンイグラー」の中で雨をしのぎます

加した高校生はそれぞれに、自然の豊かさや、自然を大切に作る気持ちを学んだようでした。

参加した高校生の感想

森林セラピーを体験して、飯南町の森林が一層大切に思えました。話を聞くだけでは分からなかった森林のきれいさ、居心地のよさ、植物の豊かさを体

感できました。森林が観光資源になるということ、体験を通して初めてきちんと理解できました。あいにくの雨だったけれど、いろいろな葉や花、動物を見ることができ、この植物と動物を守っていくためには、私たちが普段から自然を大切にすることが必要だと思いました。

短歌

頓原公民館短歌教室 七月詠草

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 山法師白く陽に咲く道の駅ここにて終りし初恋ありき      | 藤原 正  |
| 文月の稲田の稲は美事なり負けじと競う姿に学ぶ        | 岡田 繁富 |
| 米朝の会談・地震サッカーと平成おわりの六月は過ぐ      | 片岡 千鳥 |
| 「うからやから」集いて囲む米寿の膳波おたやかな瀬戸内の宿  | 千葉トミエ |
| プランターで育てしキュウリ初どりの五本それぞれレシピに使う | 景山サチ子 |
| 週一の長生き体操待ち遠しゆるりと誘う四季の童謡       | 三上 朋子 |
| 誘われし川辺に群舞の螢見ゆ遠き日浮かぶは籠の螢火      | 熊谷 允子 |
| 凜と立つ庭のたち髪あか・ピンク天気味方にいま盛り咲く    | 景山 牧栄 |
| 作業終え見上げるききに夏椿かすかにそよぐ菩提寺の空     | 本間 啓美 |
| 荒畑の草引く中にただ、輪スミレは凜と吾を見上げる      | 石川 隆  |
| 梅畑出来はどうかと見上ぐれば見事に実る房の如くに      | 安部 徳則 |
| 早乙女の絆着映える花田植異国の里に故郷しのぶか       | 山本 正敏 |

相撲の元祖 野見宿禰ゆかりの地



【島根県立古代出雲歴史博物館蔵】

出雲国造の初代は、天照大御神の第2子・天穗日命ですが、そこから14代後が野見宿禰だということです。また、「出雲国風土記」の飯石郡条では野見野の地名が上赤名の呑谷地帯に比定されています。この地は出雲臣の一族のヌミ(野見)氏が支配し、その直系(宿禰)であることから野見宿禰と称したとも言われています。

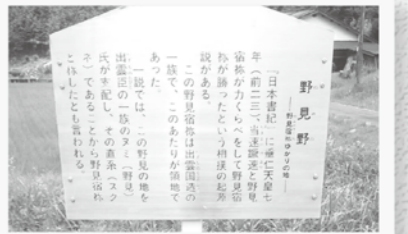
出雲国は、最初に国造りして、それを天照大御神に譲った大国主命の隠棲地。しかも皇祖神・天照大御神の第2子の子孫である宿禰は、出雲国を代表する賓客として、相撲の起源となるあの戦いの場に迎えられたのです。

土部(土師)連の始祖

当麻蹶速を倒した宿禰は、その後垂仁天皇に留り仕えました。同天皇の皇后が逝去された折、それ

で行われていた殉葬をやめ埴輪を作り献上し、その功績をたたえて野見宿禰は土部(土師)職に任じられ、姓を土部(土師)臣と改められた。それ故に土部(土師)連の始祖となったのです。

土師氏は後世、菅原氏や大江氏、秋篠氏の流れを生み、菅原道真公は学問の神様として広く知られています。



上赤名呑谷入口にある標柱。「出雲国風土記」登場地の標柱と並んで建てられています

■問合せ  
国道54号活性化アクションプラン推進協議会  
(い〜にやん人つなぎ協議会)  
電話76・2864(地域振興課)



今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

見つけよう  
悪いところ  
いいところ

赤名小4年 石川 玲夢さん  
家族名 石川 千春さん

標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

やすらぎに

7月届出分

- |         |          |    |
|---------|----------|----|
| お名前     | 親族       | 地区 |
| 貝森 信忠様  | 忠 人(下米島) |    |
| 景山 安利様  | 勇 勇(川東)  |    |
| 戸田 正子様  | 修 修(奥畑)  |    |
| 中田 シゲコ様 | 清 隆(下赤名) |    |

今日の表紙

真夏の太陽が照りつける7月17日。出雲大社神楽殿の大しめ縄のかけ替え。平日にもかかわらず、多くの人がその様子を見守りました。全ての作業が終わった午後4時半、どこからともなく起こった拍手は、あっという間に大きくなり、あたり一帯を感動の渦に包み込みました。

